

紀宝町に再度飛来した

コウノトリ



今回の珍百景は、3年半ぶりに紀宝町に飛来したコウノトリをご紹介します。

コウノトリは翼を広げると2m程度になる大型の鳥で、世界的にも絶滅が危惧されている希少種です。昭和31年には、国の特別天然記念物に指定されています。

「数日前から成川飯盛地区にコウノトリがきている」と地元の方から連絡をいただき、10月16日に撮影に向かったところ、エサを探しながら田んぼの中を歩きまわっていたコウノトリを見つけました。

今回飛来した個体は、前回訪れた個体ではありませんでしたが、足輪がついており確認したところ、この個体は「白」という名前の、今年3月13日に徳島県鳴門市で生まれたメスで、5月22日に鳴門市を巣立ち、その後は和歌山で確認されていたとのことでした。

その後、一日姿は見えなくなりましたが、神内の田尾友見さんが、10月31日に神内地区に飛来しているのを確認しました。

幸せや赤ちゃんを運んでくると言われているコウノトリ。再度飛来してくることを期待して、自然を大事にしていきたいですね。

— 珍百景を募集!! —

皆さんが見つけた珍百景を募集しています。「なんやこれ?」って思わず言ってしまうような、珍百景情報がありましたら、ぜひ役場企画調整課広報係(☎333-0334)までご連絡ください。お待ちしております。

ひょうたん屋

気分はプラタオリ

今回は京城跡の特集をご紹介します。

取材のため自分たちだけで初めて京城跡に登ったときは、正直「山」という印象でしたが、詳しい方に教えてもらいながら登ると、何気なく見ていた石造物が、数百年前も前に作られたものだったり、ただの道だと思っていたものが、さまざまな工夫により作られたものだったり、昔の時代が身近に感じることができました。

昔の写真を紹介する「今昔物語」の写真についてお話を伺うときも感じるんですが、まさに、プラタオリの気分を満喫しています。

昔の話に限らず、取材ではみなさんから色々教えてもらっています。本当にありがとうございます。

(今昔物語の写真も大募集中 愛野玲裕基)

季節はずれの桜

住民の方から教えてもらって見に行ったのですが、10月後半から11月にかけて町内各地で季節外れの桜が咲いていました。

調べたところ、これは不時現象と呼ばれるもので、台風による塩害の影響などで葉が落ちてしまうと、休眠ホルモンが十分に届かず、暖かい日が続くことで季節を勘違いして花が咲くものだそうです。

ただし、この現象で咲くのは一部の花だけで、春にはいつものおり花を咲かせるそうです。これから冬が待ち受けますが、早く暖かい春がなるといいですね。



大里地区で見つけた桜の花



広報係 田中健太郎



広報係 田中健太郎